

今月のKYT（危険予知トレーニング）

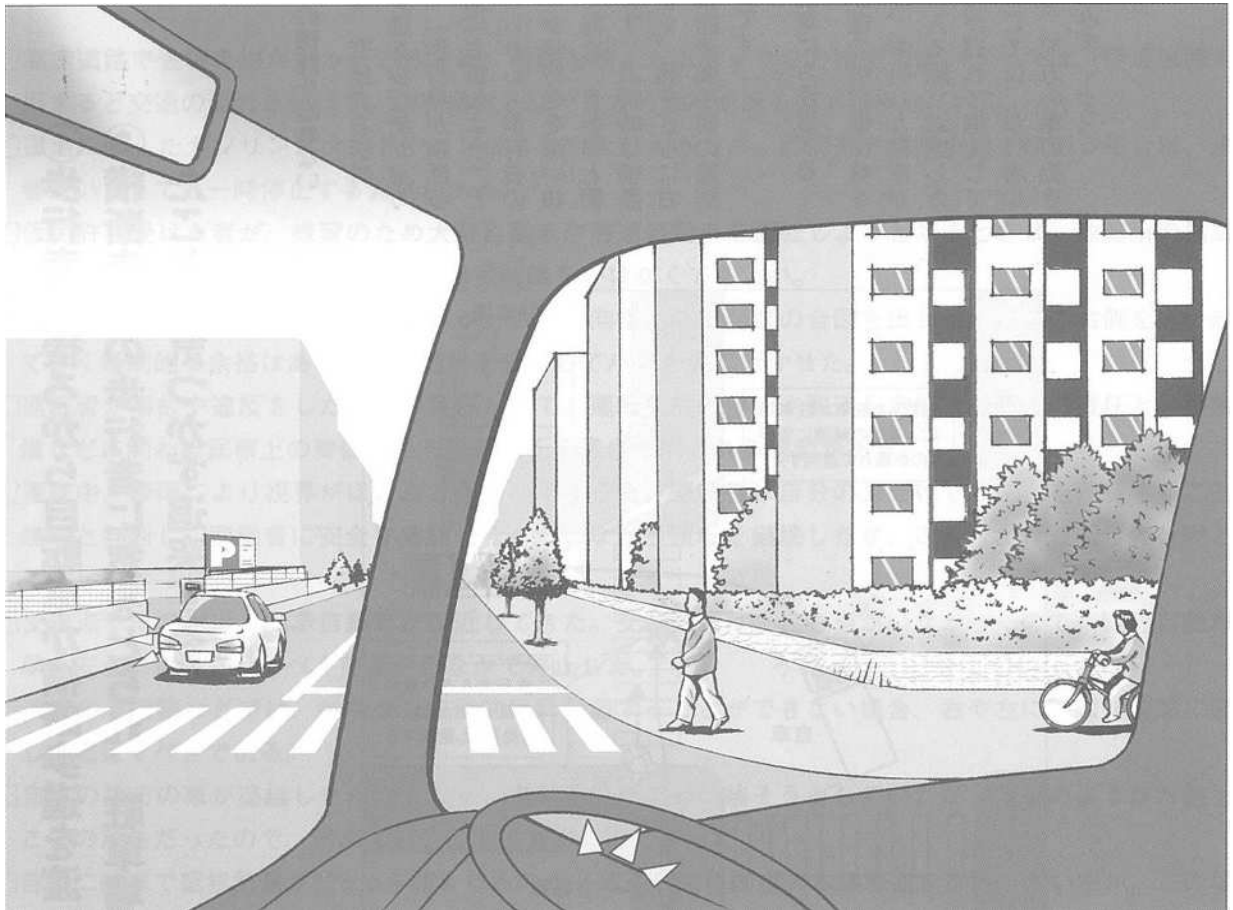
◆ 郊外の道路で交差点を右折しようとしています。

- 前車に続いて交差点に入ったところ、右側に歩行者が見えました。
- 対向車線に対向車はありません。
- 自車は歩行者が渡ってくる前に右折しようと思うのですが・・・。

【解説は次ページ】

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

Q どのような危険がありますか？



◎ 予想される危険を記入して下さい。 氏名

1 _____

2 _____

3 _____



知 予 険 危 ト イ ポ

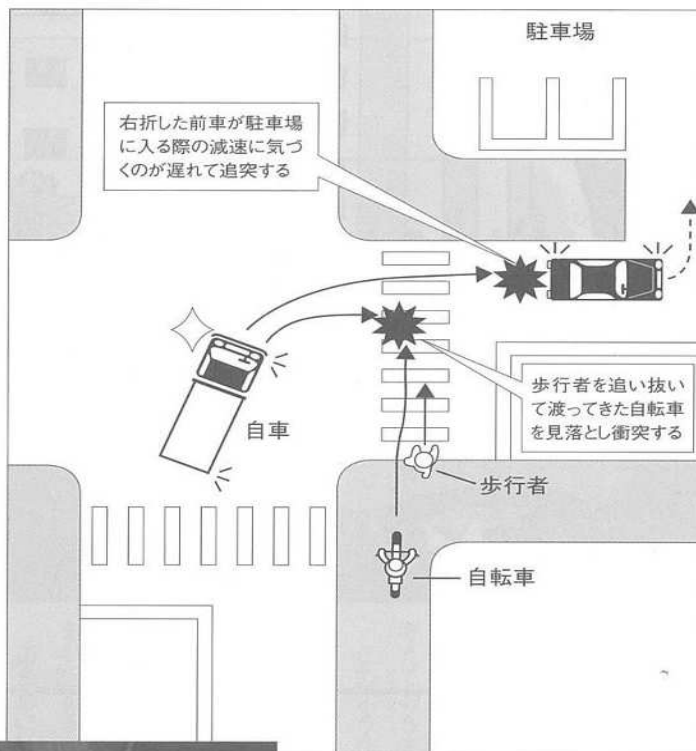
- ① 歩行者の後ろから自転車が横断歩道を渡ってきて自転車と衝突する。
- ② 横断歩道の歩行者にとられ、駐車場に入るため前車が減速したことに気づかず追突する。

右折時に右後方の確認を忘れない

この場面では、交差点右折時、右折先の横断歩道を歩行者が渡り始めるのを見て「歩行者が横断歩道を渡る前に先に右折しよう」と思いがちです。しかし、歩行者の後ろから自転車が歩行者を追い抜いて渡ってきた場合、自転車と衝突してしまいます。右折時は横断歩道上だけでなく、顔をさらに右後方に向けて横断歩道手前の確認も忘れないことです。

右折する際は前車にも注意する

また、横断歩道の歩行者に気をとられ過ぎると、右折した前車が左側の駐車場に入る際、減速したことに気づくのが遅れて追突してしまいます。ここでは、歩行者に注意をしながら、前方の車の動きにも注意して進みましょう。



歩行者を追い抜いて前に出た自転車と衝突する危険がある

※ 右左折時には、ピラーの死角にも注意しましょう。

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。
日々 KYTを行い、危険感受度を高めて防衛運転に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。